

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年6月19日(2014.6.19)

【公開番号】特開2013-240716(P2013-240716A)

【公開日】平成25年12月5日(2013.12.5)

【年通号数】公開・登録公報2013-065

【出願番号】特願2013-175226(P2013-175226)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月28日(2014.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者にとって有利な特別遊技へ移行するか否かの抽選を行う抽選手段と、
識別情報の変動表示及び停止表示を行う表示手段と、
完成状態となることで一つの構成物を形成することとなる複数の可動体と、
前記複数の可動体をそれぞれ独立して動作させる複数の駆動手段と、
前記複数の駆動手段の制御をそれぞれ独立して制御可能な可動体制御手段と、
を備え、

前記複数の可動体は、前記完成状態、及び、前記完成状態から少なくとも 1 つの可動体が分離した分離状態との間で変形可能に構成されており、

前記可動体制御手段は、遊技の進行状況に応じて遊技開始時には分離状態となっている前記複数の可動体を前記完成状態へ向けて段階的に動作させることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

遊技者による操作が可能な操作手段を備え、

前記可動体制御手段は、前記操作手段の遊技者による操作が所定のタイミングであったときに前記複数の可動体を動作させることを特徴とする請求項 1 記載の遊技機。

【請求項 3】

前記可動体制御手段は、前記複数の可動体が前記完成状態となった後に前記複数の駆動手段を制御することにより、前記完成状態を維持しつつ前記複数の可動体の動作を変化させる完成後変化動作を実行可能とすることを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

(1) 本発明は、遊技者にとって有利な特別遊技へ移行するか否かの抽選を行う抽選手段と、識別情報の変動表示及び停止表示を行う表示手段と、完成状態となることで一つの構成物を形成することとなる複数の可動体と、前記複数の可動体をそれぞれ独立して動作させる複数の駆動手段と、前記複数の駆動手段の制御をそれぞれ独立して制御可能な可動

体制御手段と、を備え、前記複数の可動体は、前記完成状態、及び、前記完成状態から少なくとも１つの可動体が分離した分離状態との間で変形可能に構成されており、前記可動体制御手段は、遊技の進行状況に応じて遊技開始時には分離状態となっている前記複数の可動体を前記完成状態へ向けて段階的に動作させることを特徴とする遊技機とした。